

事業計画書

事業名	健康な心を育む勇気づけの対応
団体名	ファミリーサポート・勇気づけ

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。
 - ・子ども時代に受けたこころの傷はいつ表面化するかは予想出来ません。不登校、引きこもりと言ったように 比較的若い時代に表れることもあれば 成人してからうつ病を始めとする精神疾患として形を呈することもあります。「困難に出会っても乗り越えていける精神力」を育てるという目標を持った 子どもへの対応が必要です。
 - ・松戸市の小・中学生の不登校は2010年現在 500名に上っています。小・中学生の不登校の保護者が「勇気づけの対応」を学び、実践されることで 子どもの心の傷の回復を援助出来、再登校を早期化出来ます。これまでの事例では保護者の方が学び始められてから6から7ヶ月で再登校されています。これは長期化することが多いと言われている不登校生への働きかけの方法の中で著しく短いと言われています。
 - ・2009年の自殺やうつ病を原因とする経済的損失は2.7兆円と厚労省初調査が出ています。これは松戸市2009年歳入総額の21.5倍という数字です。
 - ・長期的観点に立つと 健康なこころを持った人の育成は 家庭の円満、協力的な地域の形成、市の財政、国の財政の負担軽減の一助にもなります。
2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。
 - ・「勇気づけの対応」は様々な人間関係に応用できるので 協力的な人間関係の輪がある地域
 - ・一人でも多くの不登校、引きこもりの方が再登校、社会復帰を援助できる体制がある地域
 - ・不登校、引きこもり、うつ病は「勇気づけの対応」という予防があることを育児、教育に携わる方々に関心を持って頂ける地域
3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。
 - ・事業内容
 - ・子どもの不適切な行動の目的を理解し、行動修正に効果のある「勇気づけの対応」をひとりでも多くの方に知って頂く為の講演開催

・問題を抱えたご家族に対する問題解決に向けての対応方法提示の支援活動(勇気づけの親子関係実践セミナー)

実践セミナーに来られた方から「家庭内の問題解決の糸口になる。」との多くのご報告を頂いております。

・想定スケジュール(事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください)

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・貸し出し用本購入 ・チラシ作製 ・市の関連機関にチラシ配布依頼 ・不登校、引きこもりの子どもを持つ家庭を含む子育て中の家庭への広報活動 ・1回目の講演 ・4月～6月毎月3回の講座 	<p>講演：「勇気づけ対応」の必要性 対象：保護者(保育園・幼稚園・学校関係) 場所：松戸市女性センター・ホール</p> <p>講座：「勇気づけの親子関係実践セミナー」 対象：子育て中の方、不登校のお子さんを持っておられる方 場所：新松戸ちばコープ集会室 松戸市女性センター研修室</p>
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の講演 ・保育園、幼稚園、小・中学校の先生向けの広報活動 ・7月、9月毎月3回の講座 	<p>講演：「勇気づけ対応」の必要性 対象：保育園、幼稚園の団体 場所：松戸市女性センター・ホール</p> <p>講座：「勇気づけの親子関係実践セミナー」 対象：子育て中の方、不登校のお子さんを持っておられる方、先生方 場所：新松戸ちばコープ集会室 松戸市女性センター研修室</p>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・3回目の講演 ・10月～12月毎月3回の講座 	<p>講演：「勇気づけ対応」の必要性 対象：保護者(保育園・幼稚園・学校関係) 場所：松戸市女性センター・ホール</p> <p>講座：「勇気づけの親子関係実践セミナー」 対象：子育て中の方、不登校のお子さんを持っておられる方、先生方 場所：新松戸ちばコープ集会室 松戸市女性センター研修室</p>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業のまとめ ・1～3月毎月3回の講座 	<p>講座：「勇気づけの親子関係実践セミナー」 対象：子育て中の方、不登校のお子さんを持っておられる方、先生方 場所：新松戸ちばコープ集会室 松戸市女性センター研修室</p>

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください

- ・松戸市内の関係機関（保育園 47 幼稚園 40 小学校 44 中学校 20）に「勇気づけの対応」のチラシを配布する。
- ・講演：各回 15名～20名の参加者を目標とする。
- ・講座：各回 16名前後の参加者を目標とする。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ・不登校生の保護者の方が実践されると 早ければ数ヶ月で再登校されるようになる「勇気づけの対応」をより多くの方に知って頂く活動
- ・これから育児を始める妊娠中の方、乳幼児の方々に「勇気づけの対応」を知って頂く活動
- ・現在受講されているご家族、助成金の活動を通して会に来られた方々に会員になって頂き、長期的には実践セミナーを開催してサポートの輪が広がるような活動

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
		会からの支出	3 30,000円
	自己資金合計 (a)	30,000円	
市	助成金申請額 (b)	100,000円	
	収入合計 (c) (a+b)	130,000円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	アドバイザーへの謝礼金	30,000円	10,000円×3回=30,000円
	チラシデザイン料	15,000円	15,000円×1件=15,000円
	チラシ印刷費 (紙代含む)	30,000円	10円×3,000枚=30,000円
	会場使用料	2,604円	868円×3=2,604円
	賃借料機材	14,100円	プロジェクターレンタル 4,700円×3回=14,100円
	活動資料等を送付するための切手代や宅配便料	12,080円	保育園数 47 幼稚園 40 小学校 44 中学校 20 合計 151 80円×151=12,080円
	本代：貸し出し用 (対象：講演・講座の参加者)	12,000円	・「6歳まではたっぷり愛して 7歳からは見守って」 1,200円×10冊=12,000円

	対象となる経費合計額 (d)	115,784 円	
その他			
	予備費	14,216 円	
	その他経費合計額 (e)	14,216 円	
事業費 (f) (d+c)		130,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。